



なか中 便り

〒224-0027 横浜市都筑区大圃町240

TEL: 045-592-3701 Fax: 045-593-5942

E-mail: ky-yj-nakagawa@city.yokohama.jp

《学校教育目標》

信頼と共感 ～夢をもって挑戦し続ける生徒たち～

◇育てたい生徒像◇

- 【知】自ら考え行動し、意欲的に学び続ける生徒
- 【徳】ルールやマナーを守り、人を思いやる優しい生徒
- 【体】心身をきたえ、たくましく生きる生徒
- 【公】役割を自ら求め、地域や社会に貢献する生徒
- 【開】共生・多様性を尊重し、未来を創る生徒



中川中スクールキャラクター
「みどりん」

『 誰かの靴を履いてみる 』

副校長 志波 亮

立冬も過ぎ、暖房が恋しくなる季節となりました。職員室のグラウンド側の窓からは、生徒のみなさんの寒さに負けず体育や昼休み、部活動などで元気いっぱい活動する姿が見え、エネルギーをもらっています。

さて、先日、用事で本校図書室に行った際に、ふとある本を手に取り夢中で読み進めてしまったことがありました。その本と出会い、10年以上前の出来事を思い出しました。その当時、私は小学校教員として学級担任をしていました。英語の授業の進め方についてイギリス出身の外国語講師と打ち合わせをしていた時のことです。彼は、身に付けたばかりの日本語で、「今年の〇〇先生(外国語講師)の靴を履いたら大きく素晴らしくて・・・」と話していました。何のことを言っているのか分からず質問してみると、この「誰かの靴を履いてみる」という表現はイギリスの定型文(日本でいう慣用句のようなもの)で、「相手の立場に立って考えてみる、やってみる」という意味であり、その考えはイギリスで大切にされていると教えてくれました。

私は子どもたちに相手の立場に立って考えることの大切さについて、折に触れて道徳や学活等で取り上げて、みんなで考えていたこともあり、それが他の国でも同じく大切にされていることをうれしく感じた経験でした。

そのことを久しぶりに思い出させてくれた本とは、著者ブレイディみかこさんの『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』です。すでに続編も出版されており、読んだ人もいないのではないのでしょうか。この本は、著者であるブレイディみかこさんが、イギリスで中学生の息子とその友人たちとの中学校生活を綴ったノンフィクションの話です。この本は、私にたくさん考えさせてくれました。私の記憶を呼び起こすきっかけとなったエピソードが、中学生の息子がイギリスの中学校のテストで「エンパシー(共感)」とは何か、との問題が出題された時の話です。息子が「自分で誰かの靴を履いてみること」と答えた瞬間に、前述した外国語講師とのやりとりと重なり、鮮明に思い出されたのでした。さらにつながったことがありました。それは、私たちの学校教育目標である『**信頼と共感**』です。

みなさんと一緒にめざす『**信頼と共感**』とは、相手の立場に立って考え、互いの違いを尊重し、認め合い、行動できる『共感』する力が、自然と仲間や周囲からの『信頼』を生み、よりよい人間関係や環境の中で、自分の力を伸ばし、高めていくことです。すなわち、相手の立場に立って考える共感する力こそ目標達成の第一歩に思えてきませんか。

ありがたいことに、その第一歩を踏み出す絶好の機会があります。それは12月4日から始まる「人権週間」です。11月21日の人権週間朝会で、生徒会本部より人権週間に関するアナウンスがあり、11月末の道徳の時間では、中川中の一人ひとりが「人権宣言」と「PF宣言」を行いました。

自分で掲げたこの宣言を有言実行していくことが、やがては、すべての活動の核である学校目標の達成への歩みとなるはずです。応援しています。

1年「職業体験」学習

1年生は、11月2日（木）に校内で「職業体験」を行いました。

社会にはさまざまな職業があり、いろいろな形で働いている人たちがいます。将来、社会の一員として生きるために1年生のみんなも働くこととなります。この「職業体験」を通して、「働く理由」について考えることを目的として行いました。当日は、「一般社団法人 夢らくぞプロジェクト」から、12の事業所の方にもお手伝いをいただき活動をしました。



実際に職業体験を行うことで、「働く」ということについて生徒たちの考え方が以下のように変わったことが、11月3日（金・文化の日）の授業参観で行われた、「職業体験発表会」でも伝わっていきました。

「働く」とは? Before	「働く」とは? After
Aさん ：「お金をためること」	Aさん ：「お金のためだけじゃなく、大変だけど楽しいこともあることがわかった」
Bさん ：「ただ仕事をこなす」	Bさん ：「お客さんのために細かいところまで気を使う大変なこと」
Cさん ：「すごく大変、面倒くさい」	Cさん ：「大変だけど達成感がある。また、楽しい」
Dさん ：「お金を稼ぐためにしょうがなく働かなければいけない」	Dさん ：「自分の好きなこともできるし、自分を成長させることができる素晴らしいこと」



90分間の体験でしたが、有意義な活動ができました。自己の能力や適性についての理解を深め、今後の学校生活や将来の進路選択に生かして行ってほしいと願っています。

当日は、PTAの学年学級委員の方々にもサポートをしていただきました。ご協力ありがとうございました。

(1学年主任 富永 東吾)

オープンスクール・デイ

11月3日（祝）に本校で「オープンスクール・デイ」を実施しました。新型コロナウイルスの感染が拡大する前までは、各部活動や団体で模擬店などを出店し、活気のあるバザーを開催していました。今年度、新たな形式のオープンスクールを検討してきました。「よりよい学校教育を通じよりよい社会を創る」という理念のもと、注目したところは、「**中川中学校コミュニティハウス**」でした。これまでは中学校との交流がほとんどありませんでしたが、この機会に中川中の生徒が少しでも多くコミュニティハウスに足を運んで、地域の人たちと繋がりを持ってもらいたいというのが、オープンスクールの目的となりました。



さて今回、中川中学校コミュニティハウスのお計らいで3つの講座を用意していただき、図書室では「**大人も子どもも楽しめるおはなし会**」という講座を行い、世界のお話、落語の紙芝居、ブラックパネルシアターといった内容で、生徒たちも真剣に聴いていました。武道場では「**日本の文化に触れてみよう**」という講座を開設し、浴衣を着て民謡を踊ったり、和太鼓を実際に叩いたり普段は出来ない体験をすることができました。B棟の3階教室では「**手芸クラフト**」の体験を行いました。予想以上の子ども達の入場で、準備していたものが足りないといった混み具合でした。スタッフの方の説明を聞いて、黙々と活動していたのが印象的でした。講座を担当された方々からも「中学生の年代のお子さんに関わることができてうれしい」といったお声が聞かれました。

生徒たちの様子は、1、2校時の**道徳と教科の授業参観**で保護者の方々にご覧いただきました。また、体育館では、**吹奏楽部と演劇部の発表**がありました。文化祭で見ただけなかった保護者の方々にも鑑賞していただき、大変喜んでいただいたように思います。



多くの保護者の方にご来校いただき、ありがとうございました。合わせて、「**PTA 標準服リサイクル販売**」も実施しました。こちらも盛況でした。準備や運営など、委員のみなさまにご尽力いただきましたこと、感謝申し上げます。

「地域とともにある学校」を目指して、来年度以降もより良いオープンスクールを目指してまいります。

（教育課程推進委員長 村田 達治）

【ご来校の保護者の方の感想（抜粋）】

- 1年生は「職業体験」の感想をハキハキと発表していて、聞く姿勢も真剣でとてもいい授業だと思いました。たくさんの気付きがあったみたいで有意義な活動だと思いました。
- 保健体育の授業はバレーボールでしたが、初めはぎこちない動きだったのが、次第にルールやボールの扱い方が分かってきて形になっていく様子が見られました。楽しそうでした。
- 子どもたちが共に考えながら話を導き出す参加型の授業を素晴らしいと思いながら観せていただきました。
- せっかくだから、保護者も参加できる授業だといろいろな子どもと接点を持つと思う。
- 家庭では見られない子どもの姿が見えて、多面的に我が子を見ることができました。
- 吹奏楽の演奏は素晴らしく、感動しました。演劇部の演目はとても面白く、楽しく鑑賞させていただきました。
- 地域の方々も共に参加することが人と人とを繋ぎ、生徒さんにも良い影響があるのでは、と思いました。



地区懇談会（中学校拡大運営協議会）

オープンスクールと同様、本校では、コロナ禍前まで7月に「地区懇談会」を行っていました。そこで、今年度は、新たに学校運営協議会の仕組みを利用して10月31日（火）に実施しました。

生徒は、新しい生徒会本部役員と各専門委員長が代表として参加しました。大人の参加者は、PTA地区校外委員のみなさんと学校運営協議委員のみなさん、そして、中川中の教職員です。

当日は図書室に集まり、生徒と大人がグループを組み、「安全に登下校するために気を付けていること」「自転車等に関する交通マナー」をテーマに話し合いました。

登下校については「下校時は街灯がなくて暗いと感じる道がある」「おしゃべりに夢中になり、広がって歩いてしまうことがある」といった課題がありました。「交通マナー」については「電動補助付き自転車が増えて便利だが、スピードを出し過ぎることがある」「ヘルメットの装着が努力義務化されたが、まだ浸透していない」といった話がありました。

いずれについても、子どもも大人もそれぞれの立場で気を付けたり伝え合ったりしていきたいと思います。ご参加いただいた方、運営いただいたPTA地区校外委員のみなさんに感謝申し上げます。



【12月行事予定】

スクールカウンセラー来校日

5日・12日・19日・26日

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	金	3年三者面談1 人権トーク(都筑区役所)	16	土	
2	土		17	日	
3	日		18	月	1、2年三者面談3
4	月	3年三者面談2 学:保健指導(①喫煙②飲酒③薬物防止)	19	火	1、2年三者面談4
5	火	3年三者面談3	20	水	1、2年三者面談5 G-Day(保健)
6	水	3年三者面談4 G-Day(学級)	21	木	大掃除 諸活動なし
7	木	3年三者面談5	22	金	2学期 終業式
8	金	諸活動なし	23	土	
9	土		24	日	
10	日		25	月	オープンスクールデー代休
11	月	個別支援学級校外学習(作品展見学)	26	火	
12	火		27	水	学校閉庁日
13	水	G-Day(生活)	28	木	
14	木	1、2年三者面談1	29	金	
15	金	1、2年三者面談2 入試相談日	30	土	
			31	日	

【1月の主な予定】

- ・1月4、5日まで学校閉庁日
- ・1月 9日(火) 3学期 始業式
- ・1月17日(水) 個別支援学級合同同学芸会 (西公会堂)
- ・1月19日(金) 1、2年 5校時 授業参観・懇談会
- ・1月31日(水) 2年「職業体験」(キザニア)



